

安塚区地域協議会だより

発行日：令和6年9月25日

発行人：安塚区地域協議会 会長 吉野 誠 一

第38号

ごあいさつ

安塚区地域協議会
会長 吉野 誠 一



地域協議会は市長の付属機関と規定されています。具体的には、①諮問に対して答申を提出する。②地域の課題を協議し、解決に向けた意見を具申する。この二つの極めて重い役割を担っています。

また、提出した答申や意見は、区の意味として「ゆるやかな拘束力」を有すると解されています。

翻弄された一期末の反省を生かし、今期こそ、安塚再生の道筋を確立したいと意気込んでいます。

浅学菲才ですが、使命感をもって務める所存です。ご指導ご鞭撻のほど、よろしく願います。

副会長 新保 良 一

四年前、地

域協議会に入りました。協議会の役割とは何か、どんな活動をす



るのか予備知識も得ず恥ずかしさも感じました。そんな中、地域活動支援事業を受け、活性化に尽力されているグループの方々の姿に多くの事を学ぶ事が出来ました。以前から言われている過疎化、集落の消滅、特に山間部の集落においては、危機感が増しています。この現状にどの様に対応していくか、十〜二十年先を見据えてのビジョンも本当に大切です。

だが、二〜三年で目まぐるしく変わる世の情勢に対応出来なく成る事案も想定し、その都度抱える問題に住民が意思疎通し、取り組んで行く事が大切と考えます。住んでいてよかったと思える地域づくりに、皆さんと共に試行錯誤で進んで行きたいと思つて居ります。

委員 秋山 富 大

石橋の秋山 富大です。趣味は登山です。好きなものは、生物、植物全般で特に鳥が



好きです。この自然豊かな安塚を何とか住みよい町にしたいと思えます。人口減少と共に、いろいろな行事がなくなっていく事に寂しさを感じています。この安塚を何とか良くしたい、良い方法は？皆さんと共に考えていきたいと、地域協議会委員にさせてもらいましたが、なかなか良い考えが浮かびません。

この豊かな自然を生かした何かを、スキー場さえうまく行かなかったのに？と考えてしまいます。それでもこの自然を生かして、皆さん一緒に考えていきませんか？登山をしていつも思うのですが、その登山口それぞれに良さがあります。何か安塚の良さを出す

何かを？

委員 池田正文

この度の改選にて協議会委員になりました、真荻平(伏野)在住の池田正文と申します。協議会のことをそれほど気にしていなかったのが真実です。今までの会議を通じて今後多くの難問が議題になる気がするところで任期の長さが気になる場所です。



四年後になると福祉の方にお世話にならないければならない年齢で、高齢化、限界集落など生活に支障を及ぼすことばかりの中でどうして暮らしていけばいいのか考える場所です。

協議会委員の皆様と議論し合い、より良い方向へ向かいたいと思っています。



委員 池田康雄

二期目の四年を努めることになり、よろしく願います。前期では安塚区内の住民アンケートや各団体との意見交換を行い、「リバーサイドロードの整備と活用」に関する意見書を提出することができました。



しかしながら今までの四年間に、区内の人口減は増々加速し、学校閉鎖や商店数は少なくなりました。果たして皆様のまわりでは、なにか前向きな取り組みが起きているでしょうか。

地域協議会は、八名の新しい委員と共に、皆様の意見や将来の方向性について議論し、意思決定できるよう努力します。ご意見をお聞かせ頂きたく、気軽にお声がけください。



委員 和泉達郎

初めて委員に選任されました。宜しくお願いいたします。



私は、安塚区大原に移住して四年目となります。出身は千葉県木更津市で、高校を卒業後、陸上自衛官に奉職し、昨年定年となりました。現在は、稲作農家として四苦八苦しながら日々勉強させて頂いております。

安塚は風光明媚で大好きです。しかしながら、少子高齢化が進み過疎化に拍車がかかっているように思います。移住者の観点から意見を述べ、地域の課題について地域協議会委員の皆さんと活発に協議して課題解決に向けて専心努力いたします。

委員 岩崎博夫

この度、地域協議会委員を務めさせて頂いたことになりました。再雇用で働いていま



す。

務めるにあたり、よくよく考えてみたら、私の職場は上越市内全域にあるのですが、一度も安塚区内を経験していないことに気づかされました。その為、安塚区内の情報自分から求めないと耳に入ってくる環境ではありませんでした。

高齢化や人口減少によるコミュニティの縮小化など、様々な事に関心を持っていきたいと思うとともに、安塚区が少しでも住みやすい地域となるよう、地域住民の声を聞きながら協議会で議論を重ねていきたいと思えます。

少しでもお役に立てるよう努めてまいりますのでよろしくお願ひします。

委員 滝 沢 祐 介

この度、地域協議会委員を務めさせていただきますことになりました。

元々、私と妻は安塚区には縁もゆかりもありませんでした

が、安塚区の人々の温かさや豊かな環境に魅了され、十二年前に永住を決めました。これまで、たくさんの方々に助け



られてきたおかげで、今では安塚区の一員であると自信を持って言えます。

少子高齢化が進む昨今、こんなにも素晴らしい「私たちの安塚区」をどのように守っていくか、またどのように発展させていくかが課題であり、希望でもあるかと思ひます。

若輩者であるが故に、まだ自分に何ができるかはわかりませんが、「支え合う心」を大切に尽力してまいります。四年間どうぞよろしくお願ひします。

委員 中 村 真 二

二期八年間、地域協議会委員をつとめさせていただき、今期ついに三期目となり、最古参の委員ということになりました。

私はよそからの移住者ですが、地域のために何か役立てることはないかと思っていた所、地域協議会という仕組みのを知り、意を決して応募させていただきました。

地域協議会はボランティアということもあり、やれることには限界もありますが、全国的



に見てもめずらしい制度であり、その分可能性もあると考えています。今期もできる範囲内です。がんばりたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

委員 松 野 正 隆

この度、地域協議会委員を務めさせていただきますことになりました。よろしくお願ひ致します。

この自然豊かな

地に住み、六十七年が過ぎようとしています。この地域も、高齢化や人口減少に伴い、農地の荒廃等、様々な課題があると思ひます。どうしたら、持続可能な地域にしていけるのか。問題は沢山あるかと思ひますが、色々な考え方、情報等をいただき、議論し一つ一つ取り組んで行きたいと思ひます。

皆様のご意見や情報等をお寄せくださいますようお願いいたします。



委員 山岸 まり子

この度、地域協
議会委員を務めさ
せていただくこと
になりました。



中学校を卒業し
て、富山の吉田工

業株式会社で七年間勤務した後、結婚のため安塚に帰って来ました。その後四十年間船倉で暮らしています。今は女性消防団の仲間に入れていただいで充実した生活をさせていただいています。

四十年ほど安塚で暮らしておりますが、まだまだ分からないことだらけです。微力ではございますが地域のためにできることがあります。たら、ご意見または情報などをお寄せください。よろしくお願ひします。

委員 横尾 広明

この度、地域協
議会委員を務めさ
せていただくこと
になりました。



安塚は四季折々、

色々な表情をみせてくれます。春はさくらロード、秋は柳葉ひまわり、冬はスキー、灯の回廊と、先人たちが築き上げてきてくれたものを大事にしながら、安塚という素晴らしいところをより一層アピールし、地域の活性化に繋げていけたらと思います。

どうか皆様のご意見、アドバイスを寄せさせていただきますようお願いいたします。

令和六年八月二十七日(火)

安塚区地域協議会 審議の様子



編集後記

私はテレビをもっていないので、パリオリンピックはネットニュースでしか知らず、いつのまにか始まり、そして終わっていました。今は高校野球が佳境に入っているのかな?と思ひながら、この編集後記を書いている、そんな令和六年の夏です。

季節は移ろい、秋になったと思ったら、又すぐにとつさり雪が降る冬がやって来ます。冬が来れば春が来る、夜が来れば朝が来る。当たり前のことですが、その移り変わりがとても鮮やかな安塚の風景が私は好きです。(中村)

